

市民活動状況

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	150 団体
当センター登録会員数	6,466人
8月来館者数	838人
8月印刷機利用枚数	7,446枚

ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
 〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://r-shimin.sakura.ne.jp/



市民団体活動紹介シリーズ No.14「龍ヶ崎篆刻の会」

目指せ！市民活動日本一



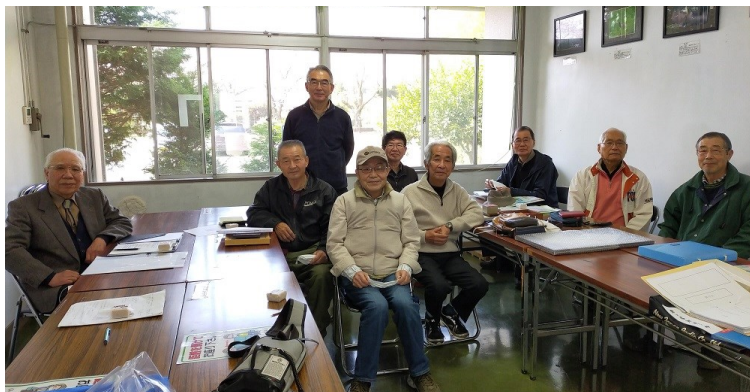
龍ヶ崎篆刻の会は、毎月第1、3木曜日に市民活動センターの多目的室で定例会を開催し、作品づくり、テーマ発表、意見交換などを行っています。

現在の会員は8名。篆刻のみならず刻字、写刻、獅子頭・能面づくりなど色々な分野に興味があるメンバーの集まりです。全会員が師匠となり弟子となり、意見と知恵を出し合い切磋琢磨して技量の向上を図っています。

篆刻は、書道の一分野で、書や水墨画の「落款」がよく知られています。石に姓名や雅号を彫って書や水墨画に押すと作品が一層引き立ちます。ただ、篆刻は落款だけでなく、四字熟語や複数個の石に漢詩や般若心経などの長文を刻むこともできます。彫っているときに刻刀が滑ったりして失敗することがありますが、それが味となり個性となります。

春と秋の龍ヶ崎市文化祭には会員の作品を展示しています。また篆刻体験教室を開催して初心者の方にも分かりやすく指導を行って、彫った作品を持ち帰って頂き好評を博しています。文化祭にご来場の際は、ぜひ体験教室にご参加ください。

詳細は090-4122-4445 代表加藤まで



開館20周年記念市民ステージ参加団体募集！

平成14(2002)年7月にNTTビルの一角で開館してから、今年で市民活動センターは20周年を迎えます。そこで、利用者の皆様とともにお祝いする「20周年記念市民ステージ」を下記の通り開催したいと考えていますので、ご応募、よろしくお祈いします。

参加申込み書は事務室にてご用意しています。

☆

- ・開催日時: 11月26日(土)13時15分～17時
- ・開催場所: 市民活動センター2階和室
- ・各ステージ: 入れ替え時間を含めて30分をお願いします。7団体募集します。



講師:川添 航(立正大学地理学科)

市内の八坂神社や撞舞の運営について調査された川添講師の講座には、牛久市や稲敷市からの参加も含めて15名の出席がありました。意見交換ではそれぞれ活発に議論が展開し、大変充実した講座となりました。講義後の討論では、「祭礼がまちの活性化につなげられるか?」「地域資源として祭りを活用できないか?」といったテーマを中心にいろいろな意見が出されました。八坂神社の祇園祭のように、3日間の祭礼のみでは商店街の売り上げの増加につなげるのは難しいが、空き店舗が増加する中心市街地に新しく転居した住居と祭礼を結び付けることができれば、なんらかのメリットがありそうだ。八坂神社の祇園祭を、市全体での「歴史の祭り」として捉えることができれば、地域住民にとっての意味合いも違ってくるのではないかと。祇園祭の歴史や文化について知っている人が少ない、などの指摘もありました。

また、参加者からは、八坂神社の祭礼はその町会に住んでいる人たちの祭礼であり、他所から参加するのは難しい。これからは「もの」から「こと」の時代である。

撞舞のように運営団体をつくり、宗教活動(神事)とうまく切り離して運営を行えば、補助金を活用したり県・市の関係者も運営に協力することができるのでは、などの提案も行われました。最後に、講師から「都市祭礼をまちの活性化にどう結びつけるか?地域社会がどう受け入れていくのか?」について地元の方々と議論することができ、貴重な機会となった。」とのコメントがありました。

市民活動センターでは今後も、こうした市内の事物を対象とした研究成果の発表の場として、積極的にここを使っていたら、地域住民へ情報発信していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。



龍ヶ崎まちづくり講座開催案内

「アパートを活用した高齢者住宅事業とトレーラーハウスによるコミュニティ・ビレッジづくり」
牛久市で3棟のアパートを活用した医療福祉生協を通しての小規模老人ホームの運営事例と快適な一人暮らしができる新しい形態のコミュニティとして、トレーラーハウスや古民家を用いた、医療も介護も受けられるコミュニティ・ビレッジの計画を紹介します。

講師:須藤 攝子氏、西村 晴海氏
日時:11月6日(日)午後1時30分~午後1時30分
場所:市民活動センター2階 パソコン室
定員:25人
申し込み・受付:63-0030 10月7日(金)午前9時から
※マイスリッパ持参をお願いします。



助成金情報



助成 団体名	内容・締切・URL
コメリ緑育成財団	自然環境保全活動・里地里山保全活動・緑化植栽活動助成 応募締切10月31日 http://www.komeri-midori.org/index.html
日本郵便	年賀寄付金(寄付金付き年賀はがき・切手)配分 応募締切11月4日(必着) https://www.post.japanpost.jp/kifu/topics/r040831_01.html

龍ヶ崎短歌会

水鳥が葉影に羽を寄せ合えば風渡り来るゆきあいの空
大雨の日兄に背負われ泥道を登校せしわれ小学一年

水鳥 葉子
皆川 孝子